

デニスジャパン株式会社の一団120名 CSR活動の一環として河川浄化に取り組むため NPO緑の会へ研修に来訪

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人
NPO緑の会
取手市小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791



9月9日(金)株式会社デニスジャパンとその関連会社の社長以下120名の一団が、CSR活動の一環として、河川浄化に取り組むため、NPO緑の会に貸切バス4台で研修に来訪しました。最初に取手市福祉交流センターで4つのテーマで講演を

聞いてもらいました。①NPO緑の会の活動について、②河川の浄化について③EMについて④EM活性液の使い方について。皆さん、初めて聞く話の内容を大変興味深く聞いていました。その後、堆肥場に移動して、EM団子作りの実践です。堆肥場のグラウンドに朝早くから練り上げて用意された団子用の土に、120名が一緒に取り付き、団子を二ギ二ギ、クネクネ、中には星やハートの団子を作る者も見られました。一見都会育ちの若者集団が、めったに経験することのない団子作りを楽しそうに賑やかに取り組む姿は壮観でした。今後は、この会

社の本社が東京にあることから、この経験を生かして、日本橋川の浄化に取り組む計画であることを、幹部の方から聞いています。せっかく、EMについて勉強してもらいましたので、会社としての取り組みの他に、皆さん個人の生活の場でも、大いにEMを活用してもらいたいものです。

CSR活動とは

CSRとは企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動です。では企業はCSR活動として何を行えばよいのでしょうか。企業は、事業活動を続けていくにあたり、従業員、顧客、取引先、仕入先、消費者、株主、地域社会、自治体や行政など多様な利害関係者と関わっています。彼らと積極的に対話し、良好な関係を保ちながら経営を続けることこそがCSR活動にほかなりません。CSRの代表的なものとしては、納税や法令順守といった当たり前のことから、安心・安全な商品やサービスの提供、人権の尊重、公正な事業活動の推進、コーポレートガバナンスの向上、環境への取り組み、サプライチェーンへの取り組み、地域課題への取り組みなどがあげられます。



用意された団子作りの材料(上)と団子作りの様子(下)



団子作りの前に、取手市福祉センターのホールでパワーポイントを使って、EMの概要やEMによる河川の浄化についての講演。皆さん熱心に聞いてくれました。
左は賑やかに行なわれた団子作りで星型やハート型を作っていました。



9月17日、定例会と相野谷川水質浄化の作業の後、会員の協力を得て、神浦地区菅野さん方の田圃に2トントラックを2台連ねて、モミガラを採集に行きました。
この日は、お天気に恵まれ、汗をかきながらの作業ではありませんでしたが、途中休憩をはさみながら、大きなモミガラの山からトン袋に詰め込んでクレーンでトラックに積み込むと云う作業を行ないました。

2トントラック2台でモミガラを採集

編集後記
「それは失敗じゃなくて、その方法ではうまくいかなかったことがわかったんだから、成功なんだよ。」
トーマス・エジソン
どうしようかと迷っているあなた、まずやってみましょう！ KF



東の辻水源



石岡船溜り

毎月第一日曜日は定例の霞ヶ浦浄化活動日です。
10月4日、恒川理事長以下4名が石岡緑の会の活動に加わって、石岡船溜りおよび東の辻水源の水質浄化活動にEM活性液2トンとEMだんご500個を投入しました。

石岡船溜り、東の辻水源 定例の水質浄化活動